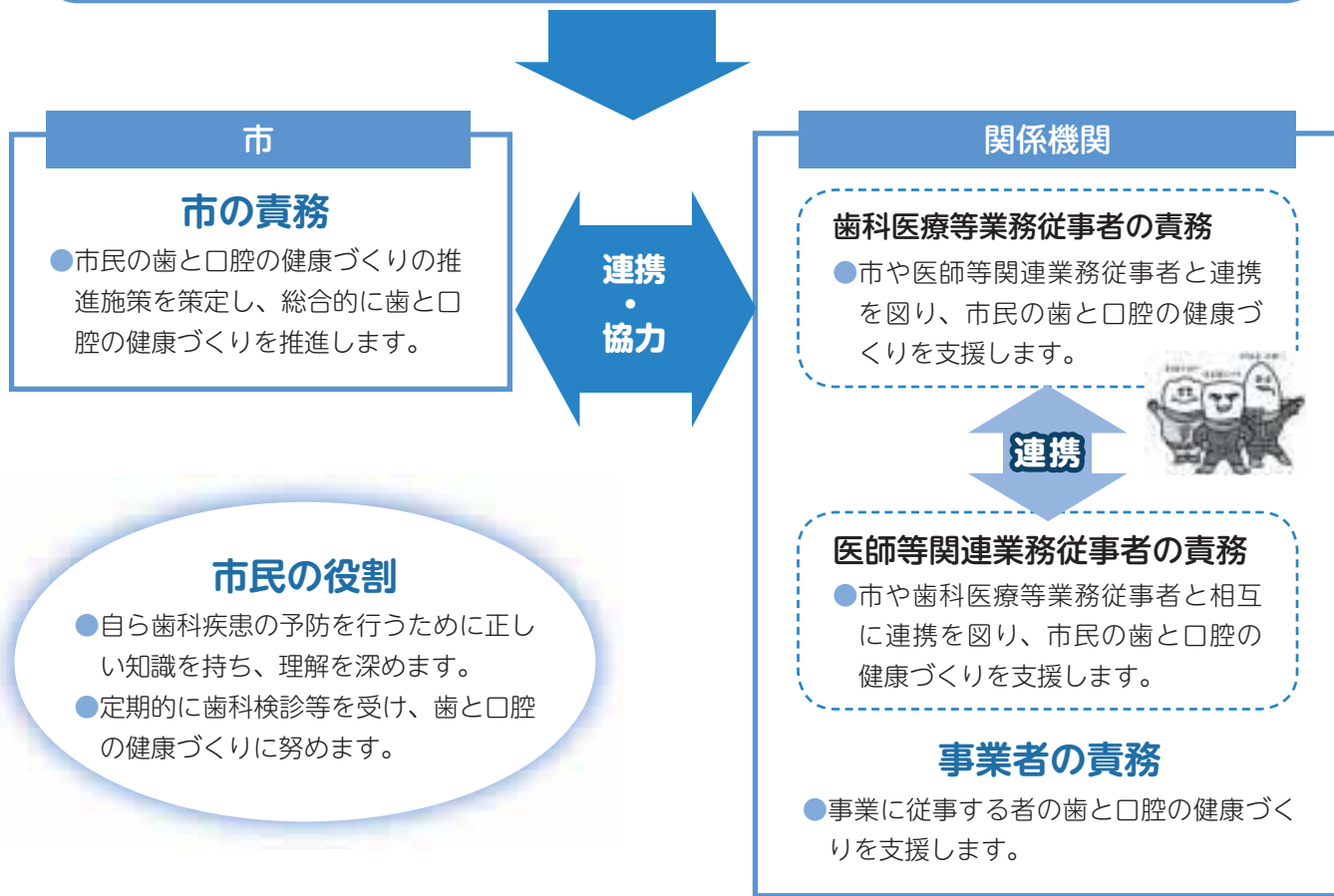


吹田市 歯と口腔の健康づくり推進条例の仕組み

目的 歯と口腔の健康づくりを推進し、市民の生涯にわたる健康の保持・増進に寄与する。

- 基本理念**
- 市民が生涯にわたり歯科疾患の予防に向けた取り組みを行うことを推進する。
 - ライフステージに応じて適切かつ効果的に推進する。
 - 保健・医療・福祉・教育などの関連施策と連携協力し、総合的に推進する。



歯と口腔の健康づくり推進条例制定記念講演会

健口から健康寿命を延ばす

歯と口腔のケアで生活習慣病予防

11月25日(火)午後2時～4時
千里市民センター大ホール

大阪大学歯学部附属病院の森崎市治郎さんが話します。▶定員先着200人。▶手話通訳あり。▶申し込み11月4日(火)から電話かファックスに講座名、住所、名前、電話番号、手話通訳希望の有無を書いて保健センター(TEL 6339・1212 FAX 6339・7075)へ。手話通訳希望は11月14日(金)まで。



森崎市治郎さん
「吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例」検討会議委員長

知っていますか？ 体の病気や生活習慣病と歯周病の関連

- たばこ** ニコチンなどが歯ぐきに悪影響を与え、歯周病が発症・進行するリスクを高めることが分かっています。
- 心臓病** 歯周病菌が血液中に入り、心臓病のリスクを高める可能性があります。
- 誤嚥性肺炎** 寝たきりの高齢者などで歯周病菌が気管から肺に入り、肺炎が起こることがあります。
- 糖尿病** 歯周病は糖尿病の合併症の一つです。糖尿病により歯周病を悪化させやすくします。逆の説も注目されています。
- 妊娠・出産** 妊娠中のホルモンバランスの変化により、歯肉炎がおこりやすくなります。進行した歯周病にかかっている場合、胎児の成長に影響を与える可能性があります。

歯と口腔の健康づくり推進条例を制定



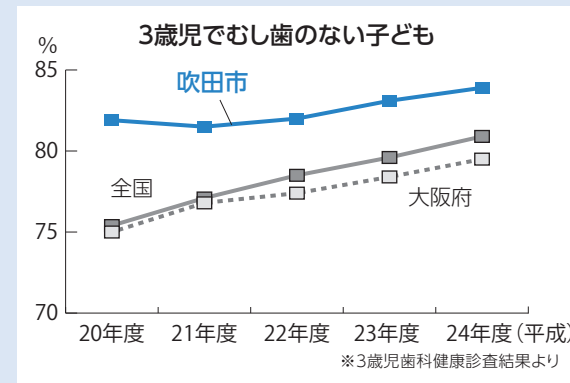
歯と口腔の健康を保つことはおいしい食事や会話を楽しむことを可能にするなど、豊かな生活を送るための重要な要素となります。また、むし歯や歯周病を予防するだけでなく、子どもの健やかな発育や糖尿病をはじめとする生活習慣病の予防や介護予防など全身の健康づくりにもつながっています。

市は市民の歯と口腔の健康づくりを推進し、健康寿命の延伸をめざすため、歯と口腔の健康づくり推進条例を定めました。☎保健センター(TEL 6339・1212 FAX 6339・7075)。

吹田市の歯科保健の現状

乳幼児期

3歳児でむし歯のない子どもの割合が高い。



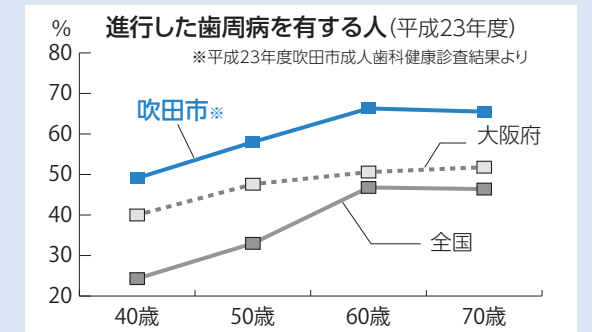
市の歯科健診の結果は、乳幼児期、高齢期ともに全国平均、府内平均と比べて良好な状態にあります。一方で、成・中年期では、40歳の人の約半数が進行した歯周病に罹患しており、年齢とともに増加傾向にあります。歯周病は歯を失う原因となるだけでなく、糖尿病を始めさまざまな病気に関連が有ると言われています。歯と口腔の健康づくりは歯科疾患を予防するだけでなく、生活習慣病予防や介護予防など全身の健康に関わります。市は市民の健康の保持増進、健康寿命の延伸をめざすため、基本理念となる条例を制定しました。

目標

- ①むし歯のない乳幼児の増加
- ②進行した歯周病を有する人の減少
- ③80歳で自分の歯を20本有する人の増加

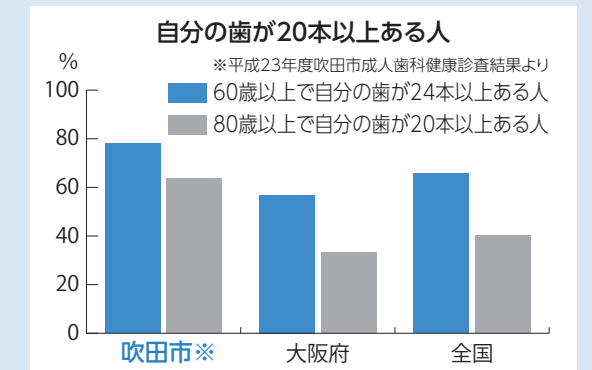
成・中年期

歯周病になっている人が多く、糖尿病予備群である人が多い。



高齢期

80歳で自分の歯が20本以上ある人が多い。



口腔ケアセンター

千里ニュータウンプラザ4階

TEL 6155・8020

FAX 6873・3030



情報展示コーナーを設け、DVDやクイズなど口腔ケアに関する情報を発信しています。歯科衛生士が常駐して相談に応じるほか、赤ちゃんの歯みがき指導、障がい者の口腔ケア相談、高齢者向けの教室や介護職向けの口腔ケア実践講座などを行っています。また、小学校3年生を対象に、歯の学習や歯科医師体験などを行う「歯の学校」の実施も行っていきます。